

授業科目	精神看護学 目的論	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2 年次前期	1	講義	15 時間
到達目標	1. 精神看護の概念を理解する。 2. こころの健康の意義について理解する。 3. 精神保健医療福祉の変遷と課題について理解する。 4. 精神に障害の持つ対象に関する法と制度について学び、支援システム、社会資源の方法を理解する。					講師
						専任教員 精神保健福祉士
授業計画						
1 回	精神保健医療福祉の変遷					専任教員 (11 時間)
2 回	精神保健医療福祉の変遷 グループワーク					
3 回	精神看護の倫理と人権擁護 事例検討					
4 回	こころの健康					
5 回	精神看護とは					
6 回	リエゾン看護					
7 回	精神障害と法制度 精神保健福祉法 障害者総合支援法					精神保健福祉士 (4 時間)
8 回	地域移行支援・地域生活移行支援の基礎					
評価方法	修了試験：選択肢選択又は論述問題（100%） 専任教員（70%）、精神保健福祉（30%）を総合して評価する					
教科書	系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 精神看護学Ⅰ 精神保健学 ニューヴェルヒロカワ 精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 ニューヴェルヒロカワ					
参考書						
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					